

- 1面 特集 元気ビーバー隊活動中！
2・3面 特集 元気ビーバー隊活動中！・団アンケート結果
4面 保護者アンケート結果・富士章受章報告

たくさんの 仲間が集まり 元気よく

～野外で楽しくビーバー～

92号では、ビーバースカウトの加盟が多い団、追加登録が多い団を対象にアンケートや、ビーバースカウト隊の隊集会取材などにご協力をいただきました。

仲間が増えれば、活動の楽しさも増える。

なぜビーバー隊に入ったのか？加入のきっかけとして「友達がビーバースカウト隊に入っていて楽しそうだったから」「ビーバースカウト隊で活動している子どものママ友に勧められたから」などの声を聞く事があります。スカウトが生き生きと楽しく活動をしている事、それを見守る保護者の皆様が自信を持ってお勧めして下さる活動を継続している事の大切さを92号の制作にあたり改めて感じました。

元気ビーバー隊活動中！

県内の「元気な」ビーバー隊はどんな活動をしているのか、お邪魔してみました。

柏第10団

緑豊かなスカウト広場に・・・おいしそうな香りが！～「ピザ作り」

柏第10団 ビーバースカウト隊

10月21日（日）柏第10団のビーバー集会を見学させていただきました。

秋晴れの中、手賀の丘少年自然の家近くの緑豊かなスカウト広場に予定の10時前には13人のビーバースカウトと隊長、副長、補助者、育成会長、スカウトの保護者が集合していました。



今日の活動は10時から12時半までの予定で『ピザ作り』。

初めに隊長からスカウトにわかり易い活動説明があると、スカウト達はすぐに反応して喜びの声をあげていました。

スカウト達は隊長・副長が大好きでいつも楽しい活動をしている事が感じ取れました。

また役割分担も明確で副長以下誰が何を担当するのか無駄なく動いているように見えました。

隊リーダーの指示の元、保護者の方々も進んで活動に参加され、強制的に手伝わされているという雰囲気はなく、とても楽しそう

でした。

伺ったところ、毎回の活動にほぼ全員の保護者が参加協力しているとの事です。

隊リーダーの皆さんが、スカウトへはもちろん保護者にとっても魅力的で有意義なプログラムにする為に、常に勉強され新しいプログラムを研究されている状況を強く感じました。

そして、何より隊リーダーご自身が楽しんで活動されていることがうかがわれました。

緑豊かな自然の中、団委員みんなで活動をサポートされ、隊リーダーの明るい積極的な姿勢に、保護者の方々も自然に協力するという良い方向へと進んでいき、それがスカウト増につながっていると強く感じた団訪問でした。



元気ビーバー隊活動中！

船橋第3団

落ち葉を踏んで、リボンをたどって！～追跡ハイキング～



「ビーバー集合！」11月25日（日）午前10時、隊長の声が船橋市大神保キャンプ場にひびきました。

「整列、番号！」「1」「2」・・・「ビーバーそろいました」ピックビーバーから選ばれた今日のリーダーが隊長に報告し、活動が始まりました。

今日のプログラムは、森の木に貼りつけられた黄色いリボンを追って5つの課題に挑戦する追跡ハイキング。①リボンの数は？②火ばさみを使ったボール運び③リボンに書いてある文字は？④キムス（記憶力）⑤リボンの数。それぞれのゲームの得点で3つのチームが競争し、優勝チームを表彰しました。

ビーバーたちがハイキングを楽しんでいる間、団委員さんが大きな釜でご飯を炊いて、お母さん方は味噌汁を作って、野菜を切って、バーベキューの準備。

みんなでそろって、お昼ご飯楽しい1日となりました。

船橋第3団は、とにかく野外での活動が多く80%以上野外活動です。

初団当時から「地域から要請があったら絶対に断らない。たとえ少ない人数でも参加する」をモットーにやってきて、それが加盟員確保につながっていると思います。人数が多ければ、集まるだけで楽しい。古くからの指導者の方はそうおっしゃいました。

スカウトが多いと隊長は大変です。でもプログラムの運営を副長・補助者だけでなくベンチャースカウトも手伝ってくれる。とても助かる・・・とは隊長の弁



市川第2団

南極観測船 「しらせ 5002」 見学

市川第2団ビーバー隊

10月21日（日）に不定期で開催されている「チャレンジングSHIRASE 2018第5回」に参加しました。西船橋駅に集合し、南船橋駅から歩いて「しらせ」を目指します。ビーバー隊は、二つのグループに分かれ、副長と補助者が、引率して進みます。

途中の公園で休憩と朝の集会、表彰も行われました。

艦内では、「SHIRASE五象体験」「そらよみ教室」「館内スタンプラリー」「南極クラス」と盛りだくさんです。



南極クラスでは、越冬隊経験者のスカウトOBの方から説明をしていただきました。富士山もきれいに見えました。

お昼ご飯を食べて、スタンプラリーの記念メダルをいただいて終了。帰りは南船橋まで歩き、電車で西船橋まで戻って解散しました。



【指導者に伺いました】

活動で気をつけていること

隊長と副長、補助者・保護者の役割分担を守る。

【保護者の方にお伺いしました。】

入団のきっかけ

幼稚園・保育園の行事で体験して気に入った。チラシを見て。
お友達に誘われた。

【感想】

他の習い事は続かなかったが、スカウト活動は喜んで参加している。
毎回の活動を楽しみにしている。挨拶ができるようになった。

【見学を終えて】

施設の見学会は、単に「イベントに参加して楽しかった」で終わりがちですが、ハイキングや休憩・集会を設定し、スカウトらしい行動が自然に身に付くように工夫されていました。指導者・保護者の役割分担をしっかりと、全ての成人が何らかの役割を担って行動していた点が素晴らしいと感じました。
これからも楽しい体験の中で、スカウトらしさが自然に身に付く活動をよろしくお願いします。 弥栄！

アンケートより～

県内ビーバー元気団の状況

県連盟の中でビーバースカウトの人数が多い8つ団の活動状況を伺いました。

■月の活動数・時間・場所

		船橋3団	船橋10団	船橋17団	柏10団	香取1団	市原6団	四街道1団
ビーバー隊	活動数/月	2	2	1～2	2	2	1	2
	曜日	日	日	日	日	日	日	日
	時間	AM	AM	AMor 全日	AM	PM	AM	AM
	場所	公民館等	自治会館等	市内公園 公民館	スカウトハウス及び周辺	香取神宮	公園 公共施設 団野営場 市外施設	市内公園

各団とも活動回数が多いわけではありません。ほとんど団が月2回で午前中の活動で、活動場所は、野外が多く「近隣の公園」等でした。身近な場所で、スカウトとともに保護者も楽しいと感じるプログラムを作ることがポイントのようです。

仲間増やしはどのようにしているでしょうか。

団と隊が一緒になって募集のためのイベントを年2回実施していました。

イベント案内は、学校に依頼しチラシを配布して頂くのが大部分ですが、これに保護者の口コミもあります。実際にビーバースカウトの保護者の方に伺うと、22人中8人の方が学校・幼稚園から配布されたチラシでボーイスカウト募集を知ったとのことでした。

イベントに参加し、そして隊活動を体験して入隊を決めた方が9人、隊活動体験と入団説明会両方が6人となっています。中には説明会だけ聞いて入隊を決めた方が4人いました。予めボーイスカウト活動に興味のある方は団の状況がわかれば良いようです。

学校等にチラシを配布できるようになるためには、所在地の教育委員会とのコミュニケーションを大切にしてきました、またこれだけでなく、市民祭りや地域の祭りへの参加、幼稚園イベントへの協力など地域社会に積極的に関わっているとのことでした。

保護者アンケートより～

入隊してから変わった？

保護者の方から、ビーバーに入隊してから気づいたこんな感想を頂きました。

- ・年下の子のお世話をしたり、リーダーシップを見せるようになりました。
- ・積極性が出てきました。（明るく元気になりました。友だちと楽しそうに活動している）
- ・野外が好きになりました。（虫や自然が好きになった。野外遊びが好きになりました。）
- ・礼儀正しくなりました。（挨拶もするようになりました。）
- ・自発的に係りを引き受けることが増えました。
- ・1人で活動できるようになりました。自分でいろいろやろうとするようになった。
- ・協力して物事に取り組める。がんばる力がとても大きくなったと思います。仲間と一緒にチャレンジする力が付いたと思います。
- ・思いやり、やさしさが多くなった。
- ・集団生活で、学校以外の友人ができ大きく成長。親から離れ友達と遊ぶようになった。
- ・知らなかったことを教えてもらおうという意識が出てきた。



富士スカウト受章報告

スカウト活動を通して

我孫子第2団 ベンチャー隊 合戸 玲音

富士スカウトまでの道のりで、多くの方々にご指導いただきました。深く感謝いたします。

ビーバー隊からスカウト活動を始め、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊と12年間活動をしてきました。この過程で学んできた事は、私の一生の財産になると思います。

ベンチャー隊では自ら企画、計画をし、報告する流れを学びました。これは、とても良い勉強になりました。

富士章取得までには、探検旅行、プロジェクト、宗教章などに取り組みました。

探検旅行では、重装備を背負って歩く私たちに、多くの方が声をかけてきました。高校生だと答えると驚かれ、ボーイスカウトですと答えるとすんなり納得されたことが印象的でした。長距離を歩き続け、知らない土地でのキャンプでへとへとになりましたがやり遂げた達成感はとても大きく自信につながりました。

宗教章への取り組みもとても大変でした。聖書も讃美歌も礼拝への参加も初体験でした。しかし、丁寧に牧師先生から教えていただき、だんだん心が豊かになるのを感じました。そしてクリスチャンであるベーデンパウエルの言葉への理解も増しました。

富士章を目指すにあたって、これまでの実践に加え、より自己を省みる必要がありました。そして「私にとってボーイスカウトとは何なのか」という事を考える良い機会にもなりました。

そこで、私にとってボーイスカウトはもう生活の一部になっていたという事に気づきました。

これからは、自分のやりたい事がもっと行えるようになります。そして普段の生活とボーイスカウトとの壁は無くなり、同時に常にスカウトとしての意識を持って行動する必要がでてくるでしょう。

私は、富士章を通過点として、これからも「ちかいとおきて」を指針にしながら、活動を続けていきたいと思っています。



【発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟
千葉県千葉市中央区都町2-1-12
千葉県都町合同庁舎4階 043-235-8070
運動拡充委員会 編集責任 山本 勲

お問い合わせは